

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月/2日

埼玉県知事
大野 元裕 殿



提出者
住 所 埼玉県本庄市仁手1781番地
名 称 DOWAハイテック株式会社
氏 名 代表取締役 仁科 正行
電話番号 0495-21-6111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12第条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

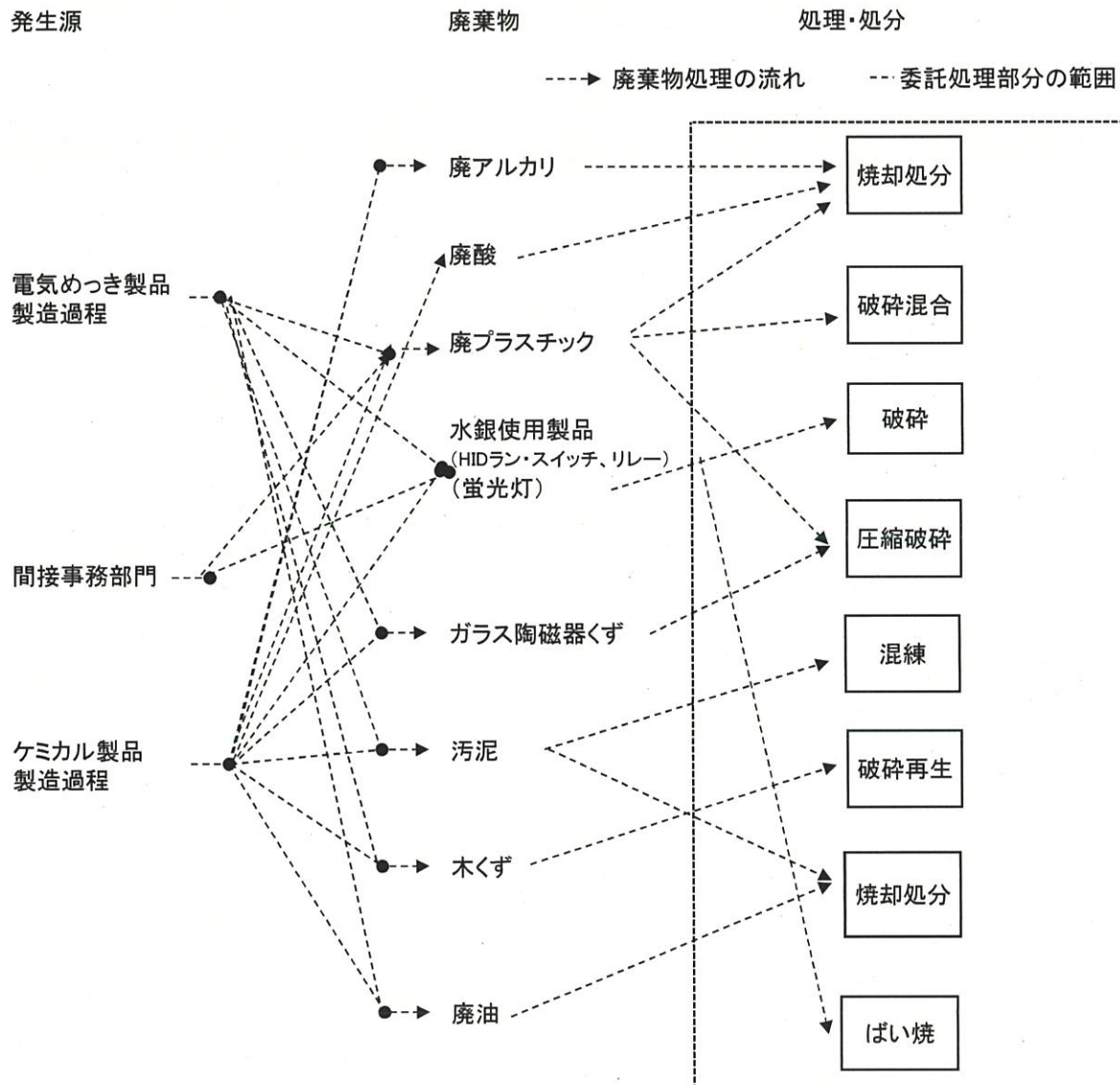
事業場の名称	DOWAハイテック株式会社
事業場の所在地	埼玉県本庄市仁手1781番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	化学工業、金属製品製造業
② 事業の規模	9, 114百万円
③ 従業員数	260名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃アルカリ 2. 廃酸 3. 木くず 4. 廃プラスチック 5. 汚泥 6. 廃油 7. ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 8. 金属くず 9. がれき類 10. 照明器具など水銀使用製品ガラスくず(蛍光灯) 11. 照明器具など水銀使用製品ガラスくず(検知管・ランプ類) 12. スイッチ及びリレー(水銀ロータリーコネクタ)

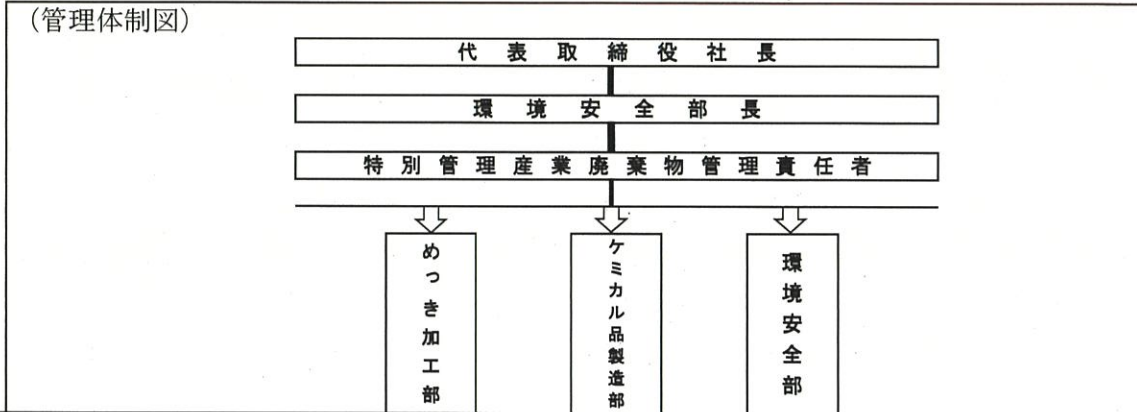
2023年度 処理計画(産廃)

産業廃棄物処理フロー図



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排出量	3,848.430 t	9.170 t
	(これまでに実施した取組) ・廃液の濃縮を実施し、排出量の管理を実施中 ・廃アルカリは計画5,800tに対して1,950t減 ・廃酸は処理計画の変更による大幅減		
②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	排出量	3,400.000 t	60.000 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状と同じく発生量管理を実施して行く ・廃アルカリを廃酸にシフトする計画は保留		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・専用タンクに集約中
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の継続を行う

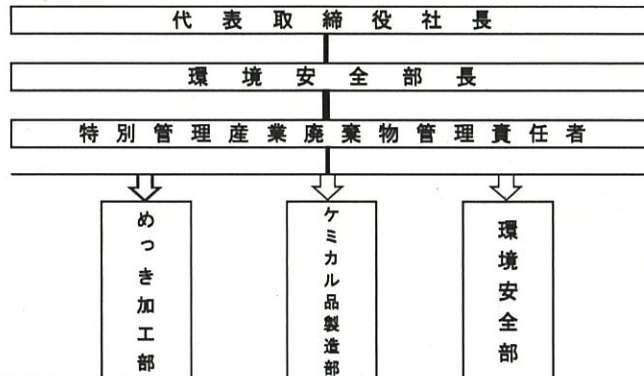
(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項																							
(管理体制図)																							
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">代表取締役社長</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">環境安全部長</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">特別管理産業廃棄物管理責任者</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">↓ ↓ ↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">めつき加工部</td> <td style="text-align: center;">ケミカル品製造部</td> <td style="text-align: center;">環境安全部</td> </tr> </table>			代表取締役社長			↓			環境安全部長			↓			特別管理産業廃棄物管理責任者			↓ ↓ ↓			めつき加工部	ケミカル品製造部	環境安全部
代表取締役社長																							
↓																							
環境安全部長																							
↓																							
特別管理産業廃棄物管理責任者																							
↓ ↓ ↓																							
めつき加工部	ケミカル品製造部	環境安全部																					
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																							
①現状	【前年度（2022年度）実績】																						
	産業廃棄物の種類	木くず 廃プラスチック類																					
	排出量	74.250 t 70.740 t																					
	(これまでに実施した取組) ・木くず、現状の管理を継続中 ・分別化の周知を継続中																						
②計画	【目標】（2023年度）																						
	産業廃棄物の種類	木くず 廃プラスチック類																					
	排出量	75.000 t 95.000 t																					
	(今後実施する予定の取組) ・現状と同じく分別管理を継続する																						
産業廃棄物の分別に関する事項																							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄前の分別確認と保管場所の周知を実施																						
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の管理を継続する																						

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油
	排 出 量	49.105 t	2.875 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・含水量を監視して排出重量の管理を継続中 ・生物汚泥の含水率を安定化させ排出重量削減 		
②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油
	排 出 量	45.000 t	5.000 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・含水量を監視して排出重量の管理を継続 ・生物汚泥の安定化を継続 ・設備更新による廃油搬出計画あり(一過性) 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別周知を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・現状の管理を継続する

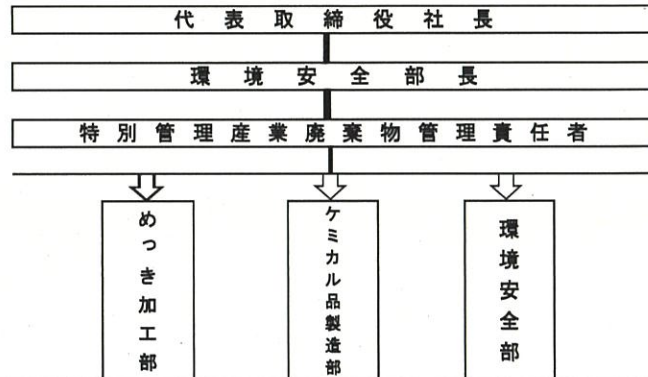
(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項									
(管理体制図)									
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">代表取締役社長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">環境安全部長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特別管理産業廃棄物管理責任者</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓ ↓ ↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">めっき加工部 ケミカル品製造部 環境安全部</td> </tr> </table>			代表取締役社長	↓	環境安全部長	↓	特別管理産業廃棄物管理責任者	↓ ↓ ↓	めっき加工部 ケミカル品製造部 環境安全部
代表取締役社長									
↓									
環境安全部長									
↓									
特別管理産業廃棄物管理責任者									
↓ ↓ ↓									
めっき加工部 ケミカル品製造部 環境安全部									
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（2022年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず 金属くず							
	排出量	3.310 t 0.020 t							
	(これまでに実施した取組) ・分別の周知を継続中 ・金属くずの有価物化を継続中								
②計画	【目標】（2023年度）								
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず 金属くず							
	排出量	3.000 t 0.000 t							
	(今後実施する予定の取組) ・分別の周知を継続する ・金属くずの有価物化を継続する								
産業廃棄物の分別に関する事項									
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物の分別周知を実施								
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の継続を行う								

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	照明器具など水銀使用製品ガラスくず（蛍光灯）
	排出量	6.721 t	0.097 t
	(これまでに実施した取組) ・蛍光灯のLED化を継続中		
②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	がれき類	照明器具など水銀使用製品ガラスくず（蛍光灯）
	排出量	0.000 t	0.100 t
	(今後実施する予定の取組) ・蛍光灯のLED化を継続する		

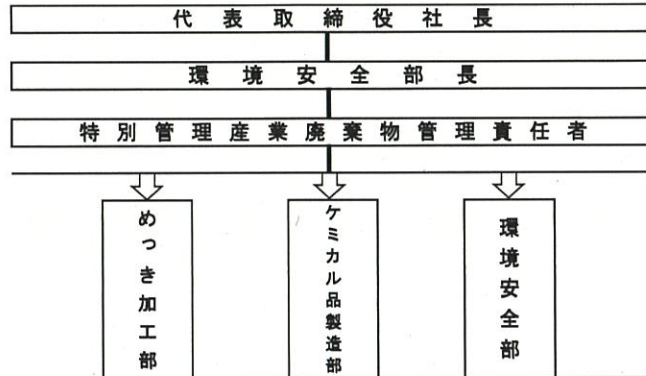
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物の分別周知を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の継続を行う ・新規導入品のLED化を継続

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	照明器具など水銀使用製品ガラスくず(検知管・ランプ類)	スイッチ及びリレー(水銀ロータリーコネクター)
	排出量	0.055 t	0.017 t
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物の分別周知を継続中		
②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	照明器具など水銀使用製品ガラスくず(検知管・ランプ類)	スイッチ及びリレー(水銀ロータリーコネクター)
	排出量	0.100 t	0.000 t
	(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の分別周知を継続する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物の分別周知を実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量	3,848.430 t	9.170 t
	優良認定処理業者への処理委託量	608.110 t	0.000 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
・廃液の濃縮を実施し、排出量の管理を実施中			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（2022年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	木くず 廃プラスチック類
	全処理委託量	74.250 t 70.740 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t 68.210 t
	再生利用業者への処理委託量	74.250 t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組)	
<ul style="list-style-type: none"> ・木くず、現状の管理を継続中 ・分別化の周知をする 		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油
	全 処 理 委 託 量	49.105 t	2.875 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.610 t	2.075 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・含水量を監視して排出重量の管理を継続中 ・生物汚泥の含水率を安定化させ排出重量削減 			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず
	全処理委託量	3.310 t	0.020 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.310 t	0.020 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の周知を継続中 ・金属くずの有価物化を継続中 		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	照明器具など水銀使用製品ガラスくず（蛍光灯）
	全処理委託量	6.721 t	0.097 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6.721 t	0.097 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
・蛍光灯のLED化を継続中			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	照明器具など水銀使用製品 ガラスくず(検知管・ランプ類)	スイッチ及びリレー（水銀ロータリーコネクター）
	全処理委託量	0.055 t	0.017 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.055 t	0.017 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量	3,400.000 t	60.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	600.000 t	60.000 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と同じく発生量管理を実施して行く ・廃アルカリを廃酸にシフトする計画は保留 			
※事務処理欄			

②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	75.000 t	95.000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	93.000 t
	再生利用業者への処理委託量	75.000 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状と同じく分別管理を継続する		
※事務処理欄			

(第5面)

②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	廃 油
	全 処 理 委 託 量	45.000 t	5.000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	5.000 t	0.000 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
・含水量を監視して排出重量の管理を継続 ・生物汚泥の安定化を継続			
※事務処理欄			

②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず
	全処理委託量	3.000 t	0.000 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.000 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・分別の周知を継続する ・金属くずの有価物化を継続する		
※事務処理欄			

②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	がれき類	照明器具など水銀使用製品ガラスくず(蛍光灯)
	全処理委託量	0.000 t	0.100 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	0.100 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
・蛍光灯のLED化を継続する			
※事務処理欄			

②計画	【目標】（2023年度）		
	産業廃棄物の種類	照明器具など水銀使用製品 ガラスくず（検知管・ランプ類）	スイッチ及びリレー（水銀 ロータリーコネクタ）
	全処理委託量	0.100 t	0.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.100 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・廃棄物の分別周知を継続する			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入し別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。